

「JF全国漁協代表者集会」開催

「新運動方針」を決議

11月19日、東京都・虎ノ門パストラルにおいて、全国漁協代表者ら約650名の参加のもと「JF全国漁協代表者集会」が開催された。

冒頭、主催者を代表して、植村正治JF全漁連会長が「浜の現状は燃油高騰、大型クラゲの来襲等により、危機的な状況にあるが、将来の漁業の発展、漁業者の経営・生活を守るために自らの漁協の事業・組織・経営改革に向けた新運動方針にご賛同いただきたい。」と挨拶を述べた。

続いて、来賓を代表して中川昭一農林水産大臣（小林芳雄水産庁長官代読）、鈴木俊一自由民主党総合調査会長、渡辺孝男公明党農林水産部会長がそれぞれ挨拶を述べた。

集会では「JFグループの事業・組織・経営改革に向けた新運動方針（案）」について、佐々木護JF全漁連副会長が具体的な取組事項等を説明し、その後、佐々木憲雄志津川漁協組合長、尾山春枝全国女性連会長より、意見表明がなされ、新運動方針は満場一致で採択された。

また、漁業・漁協経営の障害の1つとなっている燃油価格高騰の対策について、政府・国会に強く求めていくことの緊急決議がされた。続いて、「JF合併と事業改革の実現に向けた特別決議」、「JFマリンバンクの健全性・信頼性確保に向けた特別決議」がそれぞれ提案され、満場一致で採択された。

「JFグループの事業・組織・経営改革に向けた新運動方針」 重点取組事項

1. 19年度末の「漁協合併促進法」期限を踏まえた漁協合併構想の完遂
2. 赤字の事業利益の“V字回復”に向けた取り組みによる健全経営の確保
3. 組合員の漁業経営の安定に貢献するJF事業改革の実践
4. 漁業・漁村の活性化への貢献



集会の参加の本県代表者



主催者挨拶を述べる植村全漁連会長